

みずほCustomer Desk Report 2020/03/13 号(As of 2020/03/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	104.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.57	1.1261	117.82	1.2816	0.6478
SYD-NY High	106.10	1.1334	118.31	1.2850	0.6491
SYD-NY Low	103.10	1.1056	116.31	1.2490	0.6215
NY 5:00 PM	104.64	1.1188	117.05	1.2561	0.6235
NY DOW	21,200.62	▲ 2,352.60	日本2年債	-0.220	1.00bp
NASDAQ	7,201.80	▲ 750.25	日本10年債	-0.060	1.00bp
S&P	2,480.64	▲ 260.74	米国2年債	0.4671	▲ 4.94bp
日経平均	18,559.63	▲ 856.43	米国5年債	0.6091	▲ 8.96bp
TOPIX	1,327.88	▲ 57.24	米国10年債	0.8098	▲ 6.54bp
シカゴ日経先物	17,060.00	▲ 2,100.00	独10年債	-0.7470	0.30bp
ロンドンFT	5,237.48	▲ 639.04	英10年債	0.2645	▲ 2.30bp
DAX	9,161.13	▲ 1,277.55	豪10年債	0.7295	4.45bp
ハンセン指数	24,309.07	▲ 922.54	USDJPY 1M Vol	20.74	1.50%
上海総合	2,923.49	▲ 45.03	USDJPY 3M Vol	16.28	2.33%
NY金	1,590.30	▲ 52.00	USDJPY 6M Vol	13.65	1.83%
WTI	31.50	▲ 1.48	USDJPY 1M 25RR	-8.78	Yen Call Over
CRB指数	141.94	▲ 5.86	EURJPY 3M Vol	15.36	3.61%
ドルインデックス	97.47	0.96	EURJPY 6M Vol	13.20	3.12%

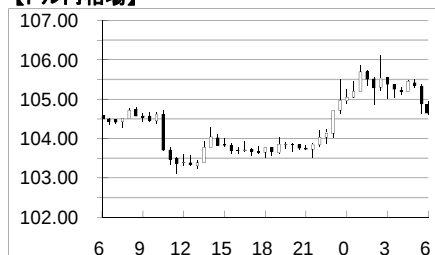
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月12日	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	2月 -0.6%/1.3%	-0.1%/1.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 211k	220k
	21:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.50%	0.00%/0.25%/-0.50%
	22:30	欧 ラガルドECB総裁「あらゆる政策手段を必要に応じて調整する用意」		

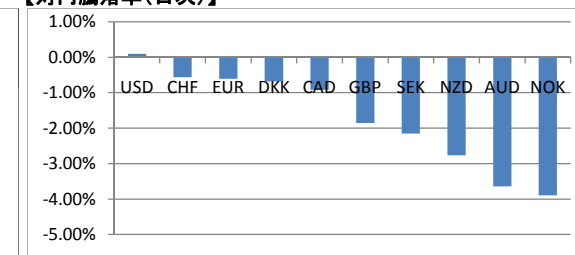
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月13日	16:00	独 CPI確報(前月比/前年比)	2月 0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	3月 95.0	101.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】後の祭り

約3週間前、巷ではコロナウィルス感染拡大懸念が台頭してきたのにも関わらず、ドル/円相場は数カ月ぶりの112円台まで上昇しておりました。あの頃100近辺まで上昇していたドルインデックスを見て、やはりドルは強いと確信致しました。そしてお客様にドル高を力説するとともに、数カ月ぶりにUSDに対するビューをブル(強気)に変更したのを思い出します。

それから約3週間、これまでの相場を振り返ってみますと、2月21日に米株が大幅に下落をしたことをきっかけにドル円が大反落を開始致しました。紆余曲折ののち、既に10円強のドル安円高が進行する場面も見られました。背景と致しましては直接的には株価の下落が大きいと見ておりますが、コロナウィルスの拡大による経済活動の後退懸念が相場に重くのしかかっていると考えております。

このような相場環境の中、昨日は日本時間午前中からトランプ大統領によるテレビ演説が行われました。中小企業に対する納税期限の延期やヨーロッパからの30日間の入国の禁止などが発表されましたが、マーケットは失望し株価の下落が加速致しました。

今後のFOMCにおける追加利下げや日銀によるETF購入の拡大等、各国の政策に対する期待は上昇するばかりですが、未知のウィルス蔓延に対する不安の払しょくへのハードルも感染者数の拡大とともに日々上がっているように感じます。

ドル円が105円を割り込んだ際にはお客様からの外貨預金作成のお問い合わせが数多くあったと聞いております。見る人は見るものだなとおお客様の動向に感心させられるばかりです。プロとしてインターバンクディーラーの向かいに座らせて頂いているのにもかかわらず、大反省です。(尾身)

東京	ドル円はアジア時間早朝に一時104.80を付け、東京時間104.57レベルでスタートすると上値の重い展開。午前10時より開かれた米大統領の演説で欧州から米国への渡航停止が発表されると、世界経済悪化への懸念が高まり、日経平均株価や米株指数先物などが下落する中、ドル円は安値103.10まで下げ幅を拡大。午後に入ると日本株が下げ幅を縮小し、ドル円は104円台まで戻す場面も見られたが、勢いは続かず103円台後半へ失速。103.70レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103円台後半を中心にみ合う展開。18、19日に開催される金融政策決定会合を前に、上場投資信託(ETF)などの金融資産の買い入れ拡大が検討されているとの思惑が浮上し、若干値を上げ、103.72レベルでNYに渡った。ユーロは1.1293レベルでオープン。序盤は、トランプ米大統領の欧州大陸渡航制限措置の発表を受けて欧州通貨が全般的に売られる展開。注目されたECB理事会の政策発表では、大方の予想通り量的緩和を拡大する一方、マイナス金利深掘りは見送られ、1.1238レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨夜のトランプ大統領の演説では、日中に伝わっていた内容と同様で、追加で市場をサポートするような内容がなかったことから、海外市場で103.10まで売られたドル円は、その後は来週の日銀金融政策会合を前に、資産購入拡大の思惑に104.28まで戻す局面もあったものの、上値は重く103.72レベルでNYオープン。朝方は、米2月PPIが予想下回ったものの、市場に与えた影響は限定的で、ECB理事会結果発表を控え、調整からユーロドルが下落する展開に、ドル円は104.22まで戻す。その後はECB結果を受けてユーロドルが急速に売られる展開に、株式市場で今週2回目のサーキットブレーカーが発動される中、ドル円は105.50まで戻す。その後はNY連銀が5000億ドルの3か月物利付を1時半に実施することを発表し、ドル買いが一息つき、株式市場も急速に戻す中、ドル円は106.10まで戻すが、株式市場では再び売りが強まり、ドル円も戻り売りに105.02まで反落する。終盤に掛けるは市場が薄い中、ダウが10%安で引ける中、円買いが持ち込まれ、ドル円は104.60まで下落し、104.64レベルでクロスした。一方、ECB理事会結果発表を前にユーロ売りが強まり、1.1238レベルでNYオープン。朝方は、ECBがコロナウィルスの影響で銀行の自己資本率引き下げ容認とのヘドラインが流れ、理事会でも今年の終わりまで資産購入を1200億ユーロに増やすことを発表し、1.1302まで戻すものの、内容に対する失望や、今週金曜夜から欧州から米国への入国禁止が発動されることもあり、1.1056まで反落する。午後はNY連銀の発表を受けドル買いが落ち着いたことからユーロドルは1.1226まで戻し、1.1188レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・高村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷浦
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
10	10